

ネパール復興探る

現地学生と日本の若者議論

三島

ネパールの大学生と本県の学生らがまちづくりなどを考える意見交換会が14日、三島市民活動センターで開かれた。ネパールの復興や環境改善に向け、両国の若者が課題と解決策を議論し合った。

昨年4月のネパール大地震直後から現地の復興支援などに取り組んでいるNPO法人グリーンワーク(GW)が、三島がネパールの大学生を三島に招き、意見交換会を主催した。意見交換会にはネパールの大学生11人と三島市近隣など日本の学生や学識者ら約20人が参加した。ネパールの大学生は自国の課題について首都への人口集中による水質汚染や、政府の被災者への支援不足などを上げた。

その上でネパールの環境保全策を議論し、日本の学生らは汚染から清流が復活した三島の源兵衛川に触れ、幼少期から環境教育で自然の素晴らしさを周知し、長年かけて地元愛を醸成する必要性を指摘した。

ピリヤンカ・スレスタさん(19)は「日本人の団結力や自然の美しさを見習い、河川の浄化に取り組みたい」と意欲を燃やした。



自国の課題と解決策を議論するネパールの大学生
＝三島市民活動センター

GW三島は今後も現地の復興に加え、ネパールの若者支援に向けて学生の受け入れも継続するという。(三島支局・伊藤龍太)